

第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会

第4回 宿泊専門委員会 結果概要

1 日時

令和4年9月2日（金） 13：30～14：30

2 場所

県庁東棟5階中会議室

3 出欠状況

出席者 11名（代理出席3名）

4 議事概要

（1）宿泊専門委員会委員等の変更

（2）説明・報告事項

- ①第80回国民スポーツ大会準備経過
- ②第80回国民スポーツ大会青森県準備委員会決定事項
- ③第80回国民スポーツ大会第1次仮配宿実施結果について
- ④第80回国民スポーツ大会宿泊施設料金調査の実施について（概要）
- ⑤第80回国民スポーツ大会食事等の提供に関すること

事務局から説明。質疑等は下記のとおり。

【福士委員長】

- ・部屋数のあるチェーンホテルなど、夕食を出せないホテルの食事を近隣の宴会場や結婚式場等で対応する等、ご意見を伺いながら対応したい。特に、メイン会場となる青森市など、充足率がだいぶ変わってくると思う。

（3）審議事項

第80回国民スポーツ大会宿泊施設充足対策要項（案）について

事務局から説明。質疑等は下記のとおり。

原案どおり可決。

【福士委員長】

- ・転用施設とはどのような施設を想定しているか。また、その情報はどのように得られるのか？
- 【事務局】公民館等の公共施設、法人等が管理する寮・保養所、寺院等を想定してい

る。各会場地市町村が自分たちの市町村の情報を持っているので、転用施設として検討している。

【加藤委員】

・他県では、このような大会期間に法人の寮や保養所を一時的に提供したという話を聞いたことがある。

→ **【事務局】** 日本原燃(株)の研修センター、県学校教育センター等に国スポ大会期間中の利用協力を打診していて、会期が決まったら、正式に依頼したいと考えている。

【松山事務局長】

・必ず1泊2食付きでないとダメなのか、これまでの実績で、1泊2食対応が必要な選手、素泊まりの選手、1泊朝食付きの選手など割合がわかるか。

→ **【事務局】** これまでは、宿泊要項で1泊2食が原則となっていたが、鹿児島県（R5年開催予定）から、1泊朝食も可とすることになった。

ただし、競技の約半数が少年競技であり、少年競技は夕食を自由にできないため、1泊2食を優先させる必要がある。

今後、状況は変わってくると思うが、食事提供方法は工夫していく必要があるので、委員の皆様からアイデア・御支援を頂きたい。

【福士委員長】

・小学生の大会では、部屋に弁当というスタイルも増えていて、今後実施する県の状況などを見ながら対応すれば良い。

紅葉で料金を安くしなくても予約が入る中で、国スポへ値段を下げての協力は厳しいが、部屋数だけでも充足していく必要がある。

【秋田委員】

・宿泊料金は、素泊まり、1泊朝食付き、1泊2食のそれぞれの形態ごとに、県内一律の金額を決めるのか。

→ **【事務局】** 料金は下限額と上限額があり、500円刻みで料金設定している。下限額は県内の状況を見て、素泊まり2,000円などに設定されており、上限額は、現在は1泊2食15,000円で日本スポーツ協会との協議の上、設定している。

佐賀県（R6年開催予定）は配宿条件が厳しいことから、上限額を上げる調整をしている。

本県では、来年度、料金調査を行い、県内宿泊施設の実態を確認する。また、仮配宿を何度も行き精度を高め、紅葉料金時期であることも訴えた上で、日本スポーツ協会と協議し、料金が決定される。

【福士委員長】

・15,000円は紅葉料金では微妙な金額。足りない施設も出てくると思う。同じチ

ームなので、1部屋に入れる人数を増やすなど、部屋単価が下がらないように宿泊施設と交渉をする等が必要。

→【事務局】今は、コロナウイルスで密にならないよう1部屋少人数となっているが、コロナウイルスの状況が落ち着いた段階で、部屋の広さによって、部屋の人数を増やすなどの交渉も考えている。

【畑中委員】

・今、物価がどんどん上がっているが、宿泊料金が決まったら、それ以上は上げられないのか？対応できない宿泊施設も出てくるのでは。

→【事務局】選手の旅費は、各県のスポーツ担当課が競技団体へ派遣費を補助しているので、上限額の範囲以内で宿泊する必要がある。
宿泊要項は1年前に決まる。それまでに、2次、3次と仮配宿を行い、精度を高めて、直前まで協議して料金を設定する。
他県では、高級な旅館の料理を普通レベルに落としてもらい、料金を下げるなどの対策をしているので、専門委員会に情報提供しながら対策を進めていきたい。

【福士委員長】

・紅葉時期なので、アジア圏からの旅行会社に部屋を押しえられてしまわないよう気をつける必要がある。

(4) その他

①配宿方式

②宿泊業務 年次スケジュール

事務局から説明。質疑等は以下のとおり。

【福士委員長】

・まだ部屋提供が取れていない状況で、クリアしていかないといけない問題もある。コロナウイルスにより安い宿と高い宿の差が開いてきていて、今後、どのような方法で協力してもらえるかを検討しながら進めていきたい。

【事務局】

・2026年に向けて、これから本格的に準備を進めていく。食事提供についても宿泊において、重要な要素であるため、委員会等の御意見を伺いながら進めていきたい。